



3月21日は  
国際人種差別撤廃デーです



【参加費】800円  
(ヒューライツ大阪会員は500円)



レイシズム——。「人種主義」などと訳されます。人種というと日本では生物学的な違いに限定されがちですが、国連は、いわゆる「人種」、肌の色、民族あるいは社会的出身などの違いを理由に差別、排除、優先することを人種差別としており、これら「人種的」な違いを見つけ、あるいはつくりだし、自分たちとは異なる者を蔑んだり攻撃したりする考え方や行動をレイシズムといいます。ヘイトスピーチもレイシズムの一つのあらわれです。それは、どんな目に遭わせてもかまわない「人間以下」の存在を生み出し、究極的には植民地支配や奴隷制、戦争の正当化へと行きつきます。「人道に対する罪」の数々は、レイシズムという回路を

フランス映画「スカーフ論争」から考える世界と日本の **レイシズム**

# エンド・レイシズム

映画を観て人権を考える

2016年3月18日(金) 18:30～21:00

19日(土) 14:00～16:30 (終了はいずれも予定)

大阪府立男女共同参画・青少年センター (ドーンセンター)  
5F 視聴覚スタジオ

【上映作品】「スカーフ論争～隠れたレイシズム」 2004年 フランス (両日共通)

【18日:対 談】**藤永 壯** 大阪産業大学教授、朝鮮近代史 × **菊池 恵介** 同志社大学准教授、社会思想史、フランス地域研究

【19日:レクチャー】**鶴飼 哲** 一橋大学教授、フランス文学・思想 ナビゲーター：**中村 一成** フリージャーナリスト

通って現実化するのです。ナチスによるホロコースト(ユダヤ人やロマなどの大量虐殺)や、ルワンダの大虐殺など、人類史上のジェノサイドの多くは、このようにして起きました。関東大震災時の朝鮮人虐殺など、この日本社会にもレイシズムのあらわれはたくさんあります。部落民が被ってきた排除の歴史、アイヌ民族への同化の強制や、国籍を「理由」にした在日コリアンの社会的排除、朝鮮学校に対する官民あげての攻撃、そして沖縄政策の根底にも、レイシズムが存在します。レイシズムとは、わたしたちが自由で平和で平等な社会を築いていく上で、避けて通れぬ敵なのです。

【主催】(一財)アジア・太平洋人権情報センター (ヒューライツ大阪)

【申し込み・問い合わせ先】〒550-0005 大阪市西区西本町1-7-7CE 西本町ビル8階 TEL:06-6543-7003 / FAX:06-6543-7004 E-mail:webmail@hurights.or.jp